

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月28日

事業所名 児童デイサービス あゆむ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			危険回避や身体があたらないように十分なスペースを確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	5			看護師も配置し、ゆとりをもって関わられるようにしている	医療ケア児が対象なので、看護師がいると安心ですが、自分たちも児童の異変に気が付けるようにしていきたいと思えます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			建物自体が、バリアフリーである。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			週一のミーティングで、順番に意見を聞き、全員が参画できるようにしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			その都度、必要なアンケート調査を行っている。	アンケートも親御さんの負担にならないように気をつけて行っているが、本当のところやはり、心配
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			行っている	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			福祉関係者と評価を行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			必要な研修は、その都度参加させている。	研修に参加した後に、ミーティングでの報告が難しいので、きちんと伝えるようにしていきたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			行っている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			している	保護者の意見も取り入れて教材選ぶようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			行っている。	成長を感じられる大切な長期休みを先生方ももっと見に来てもらえる、尚更良いと思えます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			行っている。	児童の体調変化を見逃さないようにしているが、完べきでわないので、永遠の課題。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			行っている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			判断している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			行っている。		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		参画している。	電話だけのモニタリングを行う事業所がありますが、子どもたちの事も分からないのに、言葉だけが素晴らしいすぎて、連携を図るのが難しい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			行っている	親御さんに確認したり、親御さんから再確認の電話が来たり密接に連絡を行うようにしてる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			行っている	ほぼ医ケアが必要な方々なので、必要性を感じたら、直ぐに確認などを行うようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			5	今年度は、対象児がいません。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			行っている。	対象児にとってはとても大切な事なので、資料提供を行っている。また、安心して関われるように出向いて支援のやり方を指導している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			行っている。	保育園児との関りを持っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			5	参加していない	何時協議会があるか分からない。情報が届いていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			持っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5			行っている。	保護者に話しやすい環境で、本音を出せるようにすること。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			行っている。	保護者に話しやすい環境で、本音を出せるようにすること。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			支援している。	保護者同士で仲間意識が生まれると、支え合えるので、極力話が出来るように工夫している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			行えるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5			注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			図っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			周知している。	コロナやインフルなどの流行もありまだ行えていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			している。	利用する前の段階で、聞き取りで確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			している	ミーティングで報告し、共有し休みで参加出来なかった従事者みのコピーを見てもらうなを行っている。